

文楽 Bunraku News 応援団通信

文楽
応援団通信

第30号

2017. 1. 3



ことぶきしきさんばそう
『寿式三番叟』

文楽応援団ホームページ

<http://bunrakuouendan.web.fc2.com>

文楽応援団ツイッター

<http://twitter.com/#!/bunrakuouendan>

QRコードはこちら



HP



Twitter

文楽応援団

検索

文楽応援団の自己紹介

Issued by Bunraku Ouendan

文楽応援団は文楽の普及・振興を目的とするボランティアのグループです

おもな活動内容は

- ①文楽公演のポスター・ちらしを配布
 - ②資料展示室における展示品の解説
 - ③観劇のグループに公演のあらすじや見どころ聞きどころを解説
 - ④劇場外での普及活動(文楽の楽しみ方などを解説)等々です
- この他、文楽に関する学習会や懇親会なども行います

新規団員を募集します

文楽の普及のために、一緒に活動しませんか

- ・国立文楽劇場の友の会会員であることが必要です
- ・「募集要領・申込用紙」は平成29年初春公演展示室での解説時間中に応援団員にお声かけください
- ・締切は平成29年1月26日(木)です



ほんちょうにじゅうしこう
『本朝廿四孝』

『ちょっと古い話を』

国立文楽劇場企画制作課長

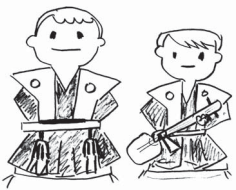
福田和彦

近年文楽公演は、お陰様でたくさんのお客様で賑わっています。時々客席を覗きますが、今日は少し薄いなどか感じる贅沢な自分がいることに気がつきませす。

ここで昭和五十年前後の話にお付き合ってください。当時私は学生でありながら梅田にあった商業劇場で仕事をしていました。当時歌手芝居が主でしたので、生意気にも物足りなさを感じ、鬱々とした日々を過ごしていました。そんな折、道頓堀中座の宣伝部にいた友人から文楽を観にいかないかと誘いを受け、朝日座へ行くことになりました。自分が務める劇場に比して、全体に暗く、空席が目立つというより客が目立つという寂しい客席であったのを覚えています。しかし、いざ幕が開くと寂しい客席に向かい、力一杯語る太夫、力強い三味線、それに合わせて血が通ったかのような人形。鬱屈した自分を解放するに充分な違う世界が開けていたのです。これがきっかけ

で文楽通いが始まりました。劇場で幕内仲間と文楽の話をしていくと大道具の棟梁が「昔、三和会で大道具やってたんや」と懐かしそうに昔話をしてくれたり、若手の照明さんが現役技芸員の親戚であったり、文楽が急に身近に感じられるようになりました。

さて、昭和五十二年にイギリスのロックミュージカル「ロッキーマーショー」が朝日座で上演、超満員二階まで一杯です。なんでイギリス人の芝居が満員で、地元の芸能が入りなんておかしいやろと憤慨した覚えがあります（しかしこの作品は面白かったです）。
現実に戻って、私はこれからもこの賑わいが続くことを願います。それには公演に関わる全ての方々の熱意、そして一番はお客様の熱い支持が必要であると考えます。その象徴が応援団の皆さんであるのです。う。これからも末長く地道にご活躍していただくことを心より願います。次第です。



やっぱり文楽はやめられない！

其の二十五

『わたしと文楽の「縁」』

油田名彩

応援団に入団して三年半。最年少の団員としていつも仲間の団員から、お客様から勉強させて頂いています。余りにも若い私がハキハキと（自分で言うのもどうかと思います）解説している様子を見て、初めの方には「えっ、もしかして舞台の関係者……？」なんて恐れ多い感想を下さいますが。

元々は竹本義太夫さんと同じ天王寺生まれ天王寺育ち、夏休み公演を小学生時代に鑑賞、高校時代に鑑賞教室に参加、という経歴のごく一般的な浪花つ子でした。

のめりこむ第一のきっかけは大学の二年の頃に履修した文楽の授業。『曾根崎心中』を講読する内容で、その緻密な人物設定と文章の美しさにははれ込んで何回も道行を舐めるように読みました。

その後行った海外留学で、何となくクラスでのプレゼンテーションの

題材に文楽を取り上げたのは、故郷への恋しさもあったのかもしれない。もちろんクラスメイトの反応は最高でした。調子に乗った私は「帰国したらどうしても文楽に関係することをやりたい！」とすぐに応援団宛に北アメリカ大陸からの便りを電子に乗せて送ったのでした。

初めていらっしやった方には文楽を知っていただくために、歴史的事実やその技術の洗練されているところを紹介するにとどまってしまうのですが、一番魅力的な部分はその構造にあるのだと思います。作り物の人形が作り物の物語の中を生きているのに、時々その中にびっくりするほど「本物」の瞬間を見つけることが出来ます。手摺で私たちの生きていく現実世界と切り離された登場人物たちはそれがどれだけ滑稽でも可哀そうでも大真面目に生きているのです。文楽のいいところは「嘘」ところです。見ているひとはそのなかの「真」に救われたり、勇気をもたらしたりするのだと思います。

だから、「やっぱり文楽はやめられない！」

最近の活動風景

劇場周辺まち歩き
(2016.9.22)



石碑清掃
(2016.12.10)



解説風景 (2016年夏休み公演及び錦秋公演)



文楽応援団 東西と一ざい



- * 9月28日(水)「国立劇場開場五十周年記念式典」が開催されました。
- * 10月21日(金)～10月23日(日) ディアモール大阪で「ムムム!! 文楽シリーズまちなか文楽展」が開催されました。
- * 10月25日(火)～11月7日(月) LOOPAで「錦秋文楽公演の紹介と展示」が開催されました。
- * 吉田簗紫郎さんが平成28年度「咲くやこの花賞」決定の発表がありました。
- * 豊竹英太夫さんが平成29年4月大阪国立文楽劇場、5月東京国立劇場小劇場での文楽公演で六代豊竹呂太夫さんを襲名されるとの発表がありました。
- * 吉田幸助さんが平成30年4月大阪国立文楽劇場、5月東京国立劇場小劇場での文楽公演で五代吉田玉助さんを襲名されるとの発表がありました。
- * 文楽応援団 HP 来訪数が 84,545 人、文楽応援団ツイッターのフォロワー数が 1,814 人になりました。(2016.12.15 現在)
- * 次回公演予定
 東京: 2月4日(土)～2月20日(月)
 大阪: 4月8日(土)～4月30日(日)
 ※ 4月19日(水)は休演。

TRUTH & FICTION

The great playwright Chikamatsu Monzaemon (1653 – 1724) famously said that in drama, “art lies on the fine line between truth and fiction.” Almost all bunraku plays are based on real people or events. The degree of artistic liberty the playwright takes with the facts does not depend only upon stage spectacle or contemporary audience appeal, but also upon how clearly the facts may actually be known. This accounts for so many different versions of plays based on the same event.

The love story of Osome and Hisamatsu is a famous example. There are several versions still in the stage repertoire and numerous others, described in historical records, have been lost.

The original event involved the deaths of Osome, young heiress to a pawnshop in Osaka, and Hisamatsu, her father’s clerk, around the turn of the 18th century. That is all we know for sure. A popular ballad of the time has the 13-year-old Hisamatsu babysitting the toddler Osome, whom he accidentally drops into the river, then hangs himself in remorse. But the earliest stage version makes them two teenagers, real lovers who end in double suicide, a tradition which continued over time. Did the plays transform a children’s accident into a romantic tragedy in order to sell tickets? Or was

the original song a cover-up of the far more serious scandal of a low-class clerk having relations with his master’s daughter? That was social effrontery of such magnitude that even a standard love suicide scene, ennobling for the characters and so popular with audiences, is not shown in extant plays. In most versions throughout history, moreover, the social problem was eliminated altogether by making Hisamatsu a samurai in disguise! Men could have girlfriends socially beneath them, but never above. This month’s play, *Somemoyō Imose no Kadomatsu* (1767), as the oldest extant version, may possibly be closest to truth. But we can never really know. We can only enjoy the fine line between fact and fiction that the dramatist walks with his art.

Faith Bach
Earphone Guide



そめもよういもせのかどまつ
『染模様妹背門松』

- 7/23 夏休み文楽特別公演初日。展示室解説、演目解説など、8月9日まで。
応援団通信第29号、3,000部発行。
- 8/20 【第5回スタッフ会議】 出席:8人。
- 8/26 【第5回研修会】 前日準備。担当:安藤。
- 8/27 【第5回研修会】 出席:41人。
「折り紙教室」担当:関口。
「学習会『時代物の構成』」講師:後藤静夫先生。
- 9/ 6 【第5回研修会】 報告書発送作業。世話人:松井、安藤。
- 9/22 「文楽ゆかりのまち歩き」生國魂神社・銀山寺・青蓮寺・円成院など。
世話人:馬越、高橋。参加:18人。
- 9/28 「国立劇場開場五十周年記念式典」出席:安藤。
- 10/ 5 【応援団HP委員会】 出席:5人。
- 10/11 【第6回スタッフ会議】 出席:12人。
- 10/17 【第6回研修会】 前日準備。担当:荒木、安藤。
- 10/18 【第6回研修会】 出席:40人。解説日程調整。
「錦秋公演演目説明」担当:藤田。
「学習会『演目記録映像鑑賞』」
「折り紙教室」担当:関口。
- 10/20 「錦秋公演演目レチャー」講師:文楽劇場 企画制作課。参加:16人。
- 10/21 【第6回研修会】 報告書発送作業。世話人:松井、安藤。
- 10/25 「活動写真が初作成」担当:荒木、齋藤。
- 10/28 「錦秋文楽公演」前日準備。担当:安藤。
- 10/29 「錦秋文楽公演」初日。展示室解説、演目解説など、11月20日迄。
- 11/11 「近松研究所オープンカレッジ」より解説依頼16人。担当:荒木、谷野、中西。
- 11/12 「大阪あそ歩」より解説依頼18人。担当:荒木、酒井、杉本。
- 11/17 「大阪青山学園」より解説依頼43人。担当:荒木、折井、齋藤、谷野、吉村。
- 11/23 【応援団通信第30号第1回編集会議】 出席:4人。
- 11/26 【第7回スタッフ会議】 出席:7人。
- 12/ 9 【第7回研修会】 前日準備。担当:荒木、安藤。
- 12/10 【第7回研修会】 出席:39人。解説日程調整。
「初春文楽公演演目説明」担当:藤田。
「学習会『八重垣姫その後』」講師:山本(英)。
「折り紙教室」担当:関口。
【文楽劇場前の石碑清掃】参加:23人。
【応援団通信第30号第2回編集会議】出席:3人。
- 12/15 【応援団通信第30号第3回編集会議】 出席:4人。
「勉強会『三人遣いの人形について』」
講師:後藤静夫先生。参加:21人。
「初春公演演目レチャー」講師:文楽劇場 企画制作課。参加:19人。
- 12/21 【第7回研修会】 報告書発送作業。世話人:松井、安藤。
- 12/26 「活動写真が初作成」世話人:荒木、齋藤。

文楽公演

平成29年3月

地方公演スケジュール

【主催】文楽協会【後援】文化庁

ユネスコ無形文化遺産、人形浄瑠璃文楽。

演目【昼の部】「解説」『妹背山婦女庭訓』^{いもせやまおんなていきん}「杉酒屋の段」「道行恋苧環」「姫戻りの段」「金殿の段」

【夜の部】「解説」『近頃河原の達引』^{ちかごろかわら たてひき}「四条河原の段」「堀川猿廻しの段」

地方公演チケットお問い合わせ先

| | | | | | |
|----------|------------------------|--------------|----------|---------------------|--------------|
| 2月25日(土) | アルカス佐世保(長崎県佐世保市) | 0956-42-1111 | 3月10日(金) | サンパール荒川(東京都荒川区) | 03-3802-7111 |
| 26日(日) | 戸畑市民会館(福岡県北九州市) | 093-562-2655 | | 【昼の部は貸切】 | |
| 28日(火) | かごしま県民交流センター(鹿児島県鹿児島市) | | 11日(土) | 府中の森芸術劇場(東京都府中市) | 042-333-9999 |
| | 【昼夜とも貸切】 | | 12日(日) | 森町文化会館(静岡県周智郡) | 054-289-9000 |
| 3月2日(木) | 半田市福祉文化会館(愛知県半田市) | 0569-23-7331 | | 【昼の部のみ上演】 | |
| 4日(土) | JMSアステールプラザ(広島県広島市) | 082-244-8000 | 17日(金) | 京都府立文化芸術会館(京都府京都市) | 075-222-1046 |
| 5日(日) | 姫路市文化センター(兵庫県姫路市) | 079-298-8015 | 18日(土) | 【17日は昼夜の演目を入替】 | |
| | 【昼の部のみ上演】 | | 19日(日) | やまと芸術文化ホール(神奈川県大和市) | 046-263-3806 |
| 8日(水) | 大田区民プラザ(東京都大田区) | 03-3750-1611 | | 【昼の部は鑑賞教室】 | |
| | | | 20日(月・祝) | 四日市市文化会館(三重県四日市市) | 059-351-2915 |

文楽応援団通信 第30号 2017年1月3日

編集・発行 文楽応援団(年2回発行予定)

連絡先 〒542-0073大阪市中央区日本橋1-12-10

国立文楽劇場 事業推進課

TEL06-6212-5542(直通) FAX06-6212-1202